

先週のマーケット動向(8月22日~8月26日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,335.5	1,346.6	1,329.6	1,331.3	+5.4
JPY/KRW	9.7297	9.8423	9.7196	9.7154	+0.001
KOSPI	2,467.38	2,497.76	2,430.69	2,481.03	▲11.66

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上に行ってこい。FED高官による利上げ継続発言が市場で意識されドル買い地合となる中、22日のドル/ウォンは1,335.5ウォンにてオープン。中国人民銀行によるローンプライムレート引き下げを受け人民元安となったこと等あり、ドル/ウォンは底堅く推移。海外時間にはロシアによる天然ガスパイプラインの稼働停止報道や、パウエルFRB議長によるインフレ抑制発言が出るとの警戒感から米10年債利回りが節目の3%を回復。23日朝方にはBOK総裁によるドル高への懸念発言や当局による為替介入と思われるウォン買いがあったものの、ドル/ウォンは週高値1,346.6まで上昇した。25日BOK会合では予定通り25bp利上げをするも、BOK総裁からはインフレの高止まりを指摘。韓国金利が20bp近く急上昇する中、ドル/ウォンも反落した。最後は米ジャクソンホール講演を前に方向感に乏しい展開となり、結局先週末対比5.4ウォン上昇した1,331.3ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは続伸する展開を予想する。先週末のパウエルFRB議長講演では、改めてインフレを2%に低下させることが最大の目標と強調され、物価安定には暫く引き締め施策を維持することが必要であることが明言された。これを受けリスク性資産には悲観的な見方が広がっている。ドル/ウォンは節目の1,350を前に当局による介入懸念も広がることは想定されるものの、外国人による株買いも入りやすく、上昇を止めることはできないだろう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1330 ~ 1360	9.55 ~ 9.85	137.5 ~ 139.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 30日(火) 欧 8月 消費者信頼感指数 確報値
日 7月 失業率
米 8月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 31日(水) 日 7月 鉱工業指数 速報値
中 8月 製造業PMI
中 8月 非製造業PMI
米 8月 ADP雇用統計
- 1日(木) 米 8月 製造業PMI 確報値
欧 8月 製造業PMI 確報値
米 8月 ISM製造業景況指数
韓 2Q GDP 速報値
- 2日(金) 米 7月 耐久財受注 確報値
韓 8月 CPI
米 7月 製造業受注
米 8月 非農業部門雇用者数
米 8月 失業率